

十日町地域 稲作生育速報（令和8年6月10日）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

○5月中旬までに移植されたほ場は、直ちに中干しを開始しましょう。

○5月下旬以降に移植されたほ場は、今後、高温が予想されているため、茎数の急激な増加が予想されます。田植え 25 日後頃を目安に中干しを開始しましょう。

【水稲の生育状況】 コシヒカリの生育データ（6月10日現在）※（ ）内は指標値比・差

調査地点	育苗様式	田植日	田植後日数	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
十日町(小黒沢) 標高 150m	稚苗	5/13	28	36 (133%)	342 (155%)	7.4 (+0.4)	40.5 (+4.0)
川西(上野) 標高 170m	稚苗	5/17	24	29 (107%)	299 (136%)	6.9 (-0.1)	44.4 (+7.9)
松之山(兎口) 標高 430m	中苗	5/26	15	33 (127%)	117 (106%)	6.3 (+0.6)	28.9 (-1.1)
津南(米原) 標高 450m	中苗	5/27	14	29 (104%)	115 (82%)	6.7 (+0.2)	28.6 (-8.4)

【気象予報】 北陸地方の1か月予報（新潟地方气象台6月4日発表）

気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

【今後の管理】

1 中干し・溝切り

- ・ 中干し開始時の茎数（右表）を目安に中干しを開始 しましょう。中干し開始が遅れると草丈が伸長し、倒伏が助長 されます。

- ・ 中干し前でも、ワキや藻類・表層剥離の発生が見られたら、水の更新や夜間落水を行い、根腐れや生育停滞を防ぎましょう。
- ・ 中干し効果を高めるために、溝切りを確実に実施しましょう。また、溝切りをすることで高温時でも迅速にかん水することができます。

2 病虫害防除

- ・ 斑点米カメムシ類の増殖を防ぐため、イネ科雑草（メヒシバやヌカボ等）が穂をつけない間隔（3週間程度）で畦畔の草刈りを行いましょう。
- ・ 梅雨に入ると、いもち病に感染しやすい気象条件（高温多湿）の日が多くなります。補植用の苗の放置は、いもち病の発生源となりますので、速やかに撤去しましょう。

表 中干し開始時の茎数の目安

(本/m ²)	(本/株)	
	50 株植	60 株植
210~245	13~16	11~13

※茎数の急増が懸念されるため、目標穂数の6~7割で設定

発行者：十日町農業普及指導センター（作物担当）

TEL 025-757-5516・6061

H P http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html

LINE 水稲情報は
こちらから→



こまめな休憩と水分補給で、熱中症を予防しましょう！